日野町ゴルフ協会さんから
中学校に木製ベンチを寄贈していただきました

▲前田会長から目録を受ける奥井教頭先生

このたび、日野町ゴルフ協会さん（前田一昭会長）から、日野中学校の中庭に設置できるよう、木製ベンチ6脚を寄贈していただきました。

これは、同協会主催で行われたチャリティーコンペの参加者から寄せられた善意により、寄贈していただいたものです。

この木製ベンチは、日野町の間伐材を使用し、製作されています。

大切に使わせていただきます。ありがとうございます。

定額給付金の申請はお済みですか？

日野町では、4月上旬に給付対象の各世帯に申請書を郵送し、これまでに多くの方の申請手続きが終了しています。

定額給付金の申請は10月15日（木）まで受け付けていますが、この申請期限を過ぎると給付が受けられなくなりますので、まだ申請されていない方はお早めに申請をお願いします。

※申請書は給付対象者である各世帯に郵送していますが、申請書を紛失等されている場合はお問い合わせください。

〔給付対象者〕
平成21年2月1日現在、日野町に住民登録のある方または外国人登録原票に登録されている方（不法滞在者および短期滞在者は除く。）

◆申請には、申請書のほか次の書類が必要となります。

〔必要書類〕
- 申請者本人確認書類（免許証、健康保険証、パスポート、住基カードなど）の写し
- 振込口座通帳の写し

◆問い合わせ先　総務課　総務担当
☎52 6500　有線5 7762

綿向雑感

日野町長　藤澤直広

まぶしく輝く太陽が山の端を紅く染めながら沈む頃、辺りに夕闇がせまり涼風が頬をなでていきます。今年も各地域で納涼祭が開催され、枝豆や焼き鳥をつまみにビールがすすみます。やがて会話が弾み江州音頭やカラオケにと盛り上がり、地域の仲間たちとの絆を感じあう大事な時間になります。夏祭りには花火もつきものですが、おりからの経済不況によって各地で花火大会の中止が相次いでいるようです。

経済の状況は、政府が「底打ち宣言」をしたものの雇用を中心に深刻な状況が続いています。製造工場では1週間に2日勤務、5日休みというところも。「休みが多くていい」なんて冗談にも言えません。そして、それ以前に非正規労働者はすでに「解雇」されています。完全失業率が5％を超え、有効求人倍率が0・44と史上最悪の状況に陥っています。労働者を「物」と同じように「在庫調整」（「解雇」）することによって経費を削減し、会社の利益を確保するこれまでの手法では真の景気回復などありえません。環境対策といいながら「燃費の悪い高級車」を減税し、高速料金はどこまで乗っても1000円だとかエコポイントと称して大型テレビに補助をする、自動車や家電メーカーに湯水のごとく税金を投入する「政策」の一方で、多くの国民は「仕事がなくなったら」「病気になったら」「ひとつ間違えればとんでもないことになる」という不安を肌で感じています。雇用も福祉も医療も介護も教育も「困ったときには助けられる」政治こそ必要です。企業や株主の利益が最優先される社会から人々の暮らしが最優先される社会へ、まっすぐに国民の暮らしを応援する政治へ転換しなければなりません。主役は国民、その意思を表すのは有権者。前回の総選挙のように「郵政民営化」だけが争点かのように演出され、政治のワイドショー化が指摘されました。今回もタレント首長や一部の政党のみが持てはやされるのではなく、しっかりと考えて、誰もが幸せになる社会を実現する一歩にしなければなりません。